

お客さまに信頼される資産運用

将来にわたり保険金・給付金等を確実に支払うため、高い健全性を維持しつつ、安定した資産運用収益の確保に努めています。また、責任ある機関投資家として、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりに向け、ESG投融资やスチュワードシップ活動等の責任投資を推進しています。

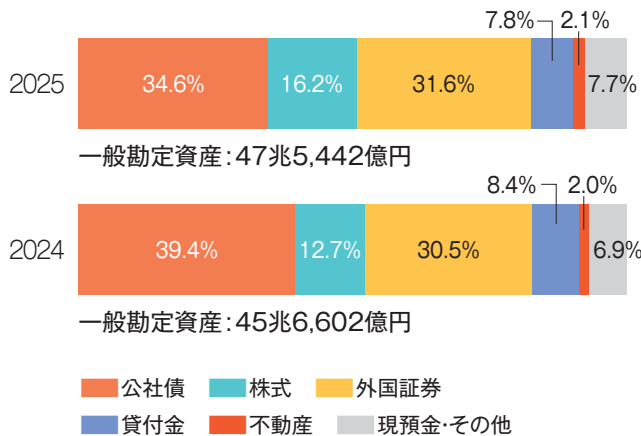
資産運用の基本理念

生命保険会社の資産運用は、お客さまからお預かりした保険料を原資としており、長期安定運用を使命としています。そのため、当社では、「ALMの考え方にに基づき、良好な運用成果を長期にわたり安定的に確保する資産運用をめざすとともに、高度なリスク管理による資産健全性の維持・向上を図ること」を基本理念としています。

安定的な資産運用・高い健全性

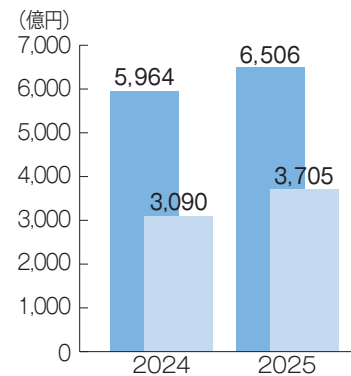
資産構成の推移（一般勘定）

公社債等を中心に、長期・安定的な資産運用を実施しています。



業務利益*（単体）の推移

不安定な市場環境のなか、安定的な資産運用収益を確保しています。



*基礎利益から標準責任準備金積み増し・戻し入れの影響を除いたもの

5兆6,034億円

資産全体の含み損益の状況（一般勘定）

「含み損益」とは、保有している資産の時価と帳簿価額との差額を指し、保険会社の企業体力をあらわすものの一つです。当社は、2026年3月末において、5兆円を上回る含み益を確保しています。



用語解説

【ALM（アセット・ライアビリティ・マネジメント）】資産と負債の総合的な管理の略称。ALMの基本的な役割は、保険契約に基づく保険金・給付金等（保険会社にとっての負債）の特性に応じた資産運用を行なうこと、また資産運用の環境を商品設計・販売戦略等に適切に反映させていくこと

責任投資に関する基本的な考え方

当社は、「確かな安心を、いつまでも」という経営理念のもと、ご契約者へ還元するための収益性を確保しつつ、責任ある機関投資家として、ESG投融资やスチュワードシップ活動等の責任投資を通じ、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりをめざしています。

ESG投融资

ESG投融资とは、財務情報に加えて、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の3つの要素を考慮する投融资です。当社は、ESG投融资のなかでも特に、ESGテーマ型投融资を通じて投融资先企業のサステナビリティへの取組みを金融面から支援するとともに、長期安定的な収益の確保と社会課題の解決をめざしています。

スチュワードシップ活動

スチュワードシップ活動とは、受託者責任をふまえ、機関投資家が議決権行使や目的を持った対話(エンゲージメント)などを通じて、投資先企業の企業価値向上や持続的な成長を促すことにより、お客さま(受益者)の中長期的な投資リターンの拡大を図る活動です。



ESG投融资およびスチュワードシップ活動の推進については、26ページをご覧ください。

●責任投資における重要取組テーマ

責任投資の推進にあたっては、「ステークホルダーへの影響度」「事業との関連性」をふまえて、5つの重要取組テーマを設定し、重点的に取り組んでいます。

ESG投融資の推進

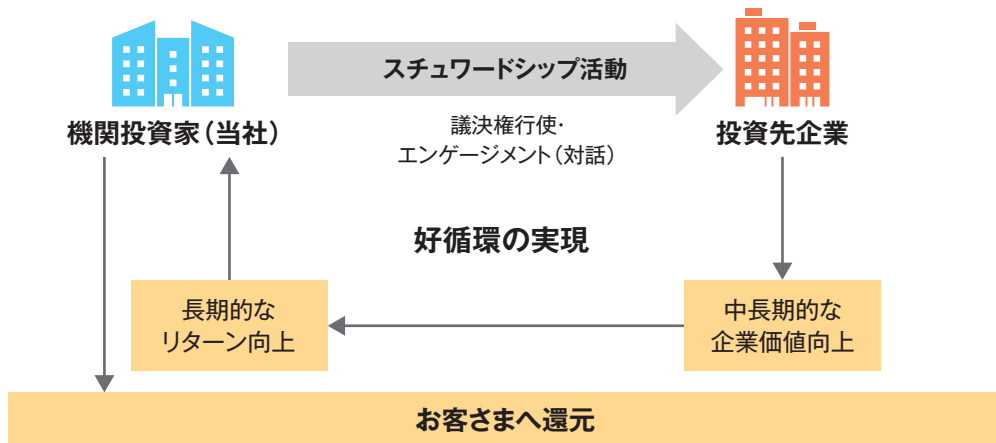
当社は、5つの重要取組テーマを中心にESG投融資を推進しています。なかでも、社会や環境に対してポジティブなインパクトをもたらすことを目的としたインパクトファイナンスおよび脱炭素社会への着実な移行に資するトランジション・ファイナンスに注力しています。

また、ESG投融資の効果にも着目し、資産運用を通じて創出される社会的インパクトの計測・開示の高度化にも取り組んでいます。

	2024-2026年度 「中期経営計画」目標	2024年度実績	2025年度実績
ESG投融資額	8,000億円	約6,000億円	約4,860億円
うちインパクトファイナンス	1,700億円	約840億円	約640億円

スチュワードシップ活動の推進

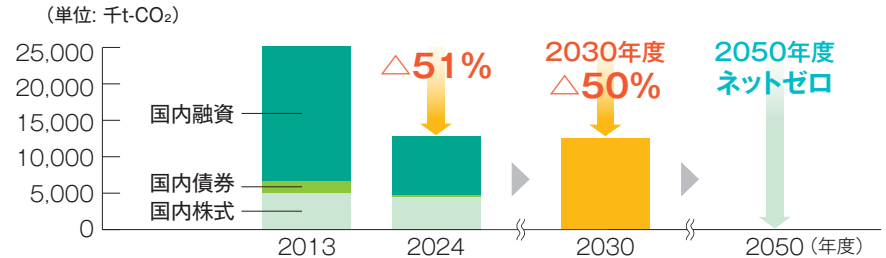
お客さまの長期安定的な利益確保をめざし、中長期的な視点で投資先企業との対話(エンゲージメント)や議決権行使を行ない、スチュワードシップ活動を推進しています。なかでも、対話テーマの拡充や、社会課題解決等のインパクト創出を企図した対話を通じて、活動の高度化に努めています。



脱炭素社会実現への貢献

当社は、2030年度に投融資ポートフォリオのCO₂排出量を50%削減、2050年度にカーボンニュートラルの実現をめざしています。2030年度のCO₂排出量削減目標は2024年度時点ですでに達成していますが、今後、トランジション・ファイナンスの推進に伴い、CO₂排出量の多い企業への投融資が増加する可能性があることから、2030年度目標はすえ置きとしています。引き続き、脱炭素に資する投融資や、CO₂排出量の多い企業を中心とした投融資先企業との対話(エンゲージメント)などを通じて、脱炭素社会の実現に向けて貢献していきます。

■ 当社投融資ポートフォリオのCO₂ 排出量



※2013年度対比。対象は国内上場企業の株式・社債・融資

外部評価

■ 環境省主催「第7回ESGファイナンス・アワード・ジャパン」



投資家部門(アセットオーナー部門)において、「銅賞」を受賞しました(第4回「特別賞」、第5回「銅賞」に続き、3回目の受賞)。

■ PRI年次評価結果 (評価期間:2024年1月~12月)



評価項目の2項目について、3年連続で最高評価の「5つ星」を獲得しました。

■ CDPによる気候変動調査 (2025年調査)



3年連続で最高評価の「Aリスト企業」に選定されました。



用語解説

【ESGファイナンス・アワード・ジャパン】 ESG金融や環境・社会事業に積極的に取り組み、インパクトを与えた機関投資家・金融機関等について、その先進的取組を表彰するもの。環境省が主催
【PRI (Principles for Responsible Investment)】 持続可能な社会を実現させるため、機関投資家に対しESG課題を投資の意思決定プロセスに組み込むことを提唱する国連責任投資原則
【CDP (Carbon Disclosure Project)】 企業に対して環境問題への取組みの促進と情報開示を求める活動を行なう国際的な非営利団体